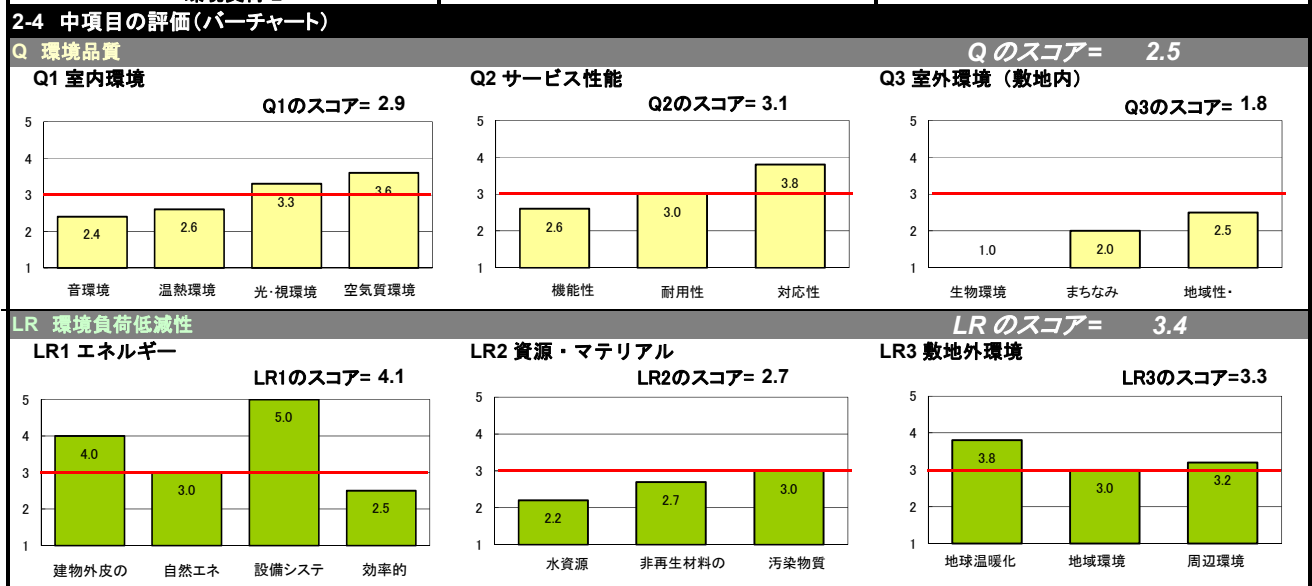
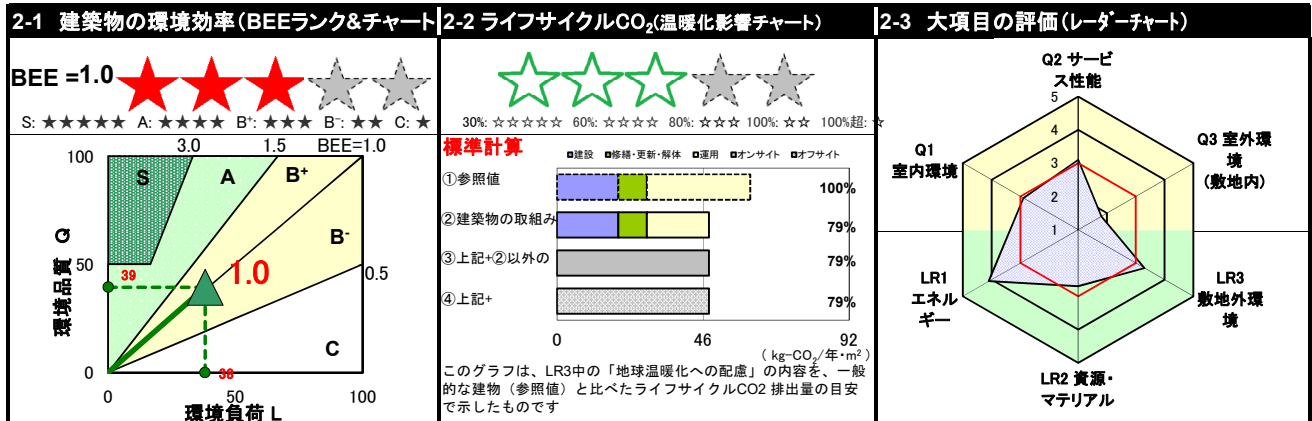


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	見上ロジス倉庫改築工事	階数	地上2F
建設地	福岡県福岡市東区多の津1丁目3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5, 3-6	構造	S造
用途地域	法第22条区域、流通業務地区	平均居住人員	100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,460 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年4月16日
敷地面積	80,474 m ²	作成者	田中 一樹
建築面積	8,294 m ²	確認日	2021年4月20日
延床面積	21,043 m ²	確認者	田中 一樹

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 道路と建物の間に緑地があり、周囲に対して騒音の影響があまり無いよう配慮した。		その他 0
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を使用。	Q2 サービス性能 ・階高にゆとりをもたせ、建物自由度をたかめた。 ・設備機器はメンテナンス動線を確保した計画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) ・外壁材は高層部の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図り、景観にも配慮した。
LR1 エネルギー ・屋根および外壁の断熱性能を高め、遮熱性を高めた。 ・照明器具はLED照明とし、高効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 定温倉庫なので外気に触れる可能性のあるシャッター付近にエアーカーテンを計画し空調温度のコントロールを考えてます。また、シャッターと連動することで電気使用量を抑える計画をしています。空調機はデマンドコントロールの計画もして電気使用量を抑える計画です。	LR3 敷地外環境 この建物で騒音が大きな空調室外機を屋上に配置することで騒音を抑える計画です

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される